ホームページでも他のセミナー詳細がご覧いただけます（セミナーのお申込もできます）
http://www.kinyu.co.jp

回覧				

海外子会社管理のチェックリスト

～進出から撤退まで：海外事業、子会社管理、内部統制、内部監査の重要項目～

講師 秋元宏樹（あきもとひろき） 氏
公認会計士 公認内部監査人 公認不正検査士
優成監査法人／Crowe Horwath パートナー

日時 平成29年10月11日（水）午後1時30分～午後5時00分

【海外進出から撤退まで、多様なフェーズにある海外子会社をいかに管理するか？】
BRICs から新興国、BOP 諸国まで、日本企業の海外進出は急速に多様化し、進出から撤退までさまざまな段階に置かれています。海外 M&A も活発に実施されており、買収会社の統合後管理（PMI）の実効的な取り組みも求められています。経営資源に制約がある中で、既存の手法やリソースを上手く活用しながら、海外子会社に対する管理や内部監査を効率的かつ効果的に実施するためのチェックポイントを解説いたします。

【文化や慣習の違う海外子会社に対して、チェックやコントロールをどこまで実施すべきか？】
言語をはじめ、文化や慣習、価値観や倫理観、コンプライアンスやローカルルールなど、海外子会社の置かれている状況はそれぞれ異なります。大胆な権限移譲により経営の現地化が進んでいるケースから、日本本社による統合的管理、地域統括会社を活用した分権的管理、シェアードサービス会社を活用するケースまで、様々な事例をチェックポイントとともに解説いたします。

【SOX や会計監査、内部監査ではカバーできない致命的なサプライズをいかに防ぐか？】
財務報告に関する内部統制に重点を置いた SOX や会計監査、従来型の内部監査は、海外とりわけ新興国子会社における不正や不祥事に対して十分な機能を果たせていません。一方、海外拠点の重要性は増加し、新興国におけるデモやストライキ、贈収賄事件の摘発に代表されるように、新興国のリスクは多様化しています。これらに対処するために、内部統制やリスク管理、内部監査の取り組みを解説いたします。

1. **海外子会社管理の現状**
2. **海外子会社管理のチェックリスト**
   - (1) コーポレイトガバナンス
   - (2) 経営環境、企業文化
   - (3) コンプライアンス
   - (4) 労務、人事、法務、総務
   - (5) 販売、購買
   - (6) 財務、外為、貿易
   - (7) 税務、経理
   - (8) 管理全般、内部統制
   - (9) 内部監査
   - (10) 情報システム
   - (11) 設立、撤退
   - (12) 再編、M&A
   - (13) 不正、贈収賄・汚職
   - (14) カルテル、独占禁止法・競争法
   - (15) その他最近のリスク項目
3. **海外子会社管理のレベルアップのポイント**
   - (1) 不正・不祥事の抑止、発見
   - (2) 集権型管理と分権型管理（地域統括会社）、PMI（買収後管理）
   - (3) ガバナンスとモニタリングの強化、内部監査・内部統制の強化
   - (4) リスク・マネジメントの潮流、GRC

～質疑応答・コンサルテーション～

【講師紹介】早稲田大学商学部卒。復旦大学留学。1996 年公認会計士二次試験合格。日本の監査法人及び中国の会計事務所にて、会計・税務・アドバイザリ、コンサルティングにてグローバル企業のグループマネジメント、GRC（コーポレート・ガバナンス、リスク・マネジメント、コンプライアンス）、海外不正対応、グループ内部監査、新興国 M&A・PMI（買収後統合）・事業再編に従事。グローバルリスク、新興国リスク、不正・贈収賄リスク・M&A リスク、戦略リスク、Data Analytics を活用したリスク管理を推進。執筆、論文、講演、官公庁・企業内部研修等多数。多数の中国語専門翻訳・専門通訳実績を有するマルチリンガル。**【講演】**金融庁「日本企業のアジア諸国での活動と投資資金～中国における会計税務マネジメントと変貌する投資政策」、東京証券取引所「海外子会社の内部統制と会計不正・不祥事」、日本内部監査協会「中国・海外事業の拡大とこれからの内部監査」など、講演、官公庁・企業内部研修等多数。**【著作】**「リスク管理と企業規程の作成・運用実務」（第一法規）、「会計士パンダの中国税務会計教室」（http://cpa-panda.way-nifty.com/blog/）、「中国の会計税務詳解」（税務経理協会）、「中国の会計基準と IFRS との差異比較」（旬刊経理情報）、「ケースを知って未然に防ぐ会計不正の処方箋」（企業会計）など、執筆、論文多数。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

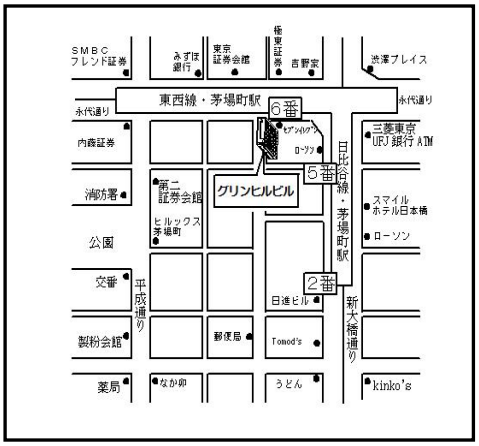
■主催 経営調査研究会
■後援 金融財務研究会
http://www.kinyu.co.jp
Facebook：http://www.facebook.com/keichoken
Twitter：https://twitter.com/#!/keichoken
Blog：http://keichoken.blogspot.com/

開催日

平成２９年１０月１１日（水）
１３：３０～１７：００

会場

茅場町･グリンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8
TEL　03-5651-2030
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅
６番出口より徒歩１分
（開場は開演の３０分前です。）



参加費

１名につき３５,１００円
（消費税、参考資料を含む）
１社２名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お２人目から１名につき３０,０００円。後日追加申込みが予定されている場合はその旨ご連絡下さい。

申込先

経営調査研究会　ホームページ http://www.kinyu.co.jp/
〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリンヒルビル
TEL　03-5651-2033　　**FAX　03-5695-8005**

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からもお申込いただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。（但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。）参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が 2,000 円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は１年以内にお願いいたします。)
ご記入いただきました個人情報は、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金　口座名　(株)経営調査研究会

三菱東京UFJ銀行	八重洲通支店	0602180	三井住友銀行	東京中央支店	3207281
みずほ銀行	京橋支店	1813877	三菱UFJ信託銀行	日本橋支店	1979947

切らずにこのままお送り下さい

FAX　03-5695-8005

海外子会社管理のチェックリスト
１０／１１

◆参加申込書◆

平成２９年　　月　　日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい	会社名	TEL FAX E-Mail		
	所在地	〒		
	参加者ご氏名		部課名	
	〃		〃	
	〃		〃	
	〃		〃	
*ｾﾐﾅｰｺｰﾄﾞ 1925（Mgt-291925）	書類送付先 （同上の場合記入不要）	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。